

## 第17回まちの駅全国大会

# まちの駅全国フォーラム in 本庄

— ご利益のあるまち本庄 —

【日時】2014年10月31日(金)～11月1日(土)【会場】本庄市民文化会館

【主催】全国まちの駅連絡協議会 まちの駅ネットワーク本庄 【共催】本庄市、本庄市商工会議所  
【後援】総務省、観光庁、埼玉県、公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパーク、本庄市私立保育園長会

### 開催趣旨

「まちの駅」は“まちの案内所”“地域の茶飲み場”として、既存の施設・空間（公共施設・民間商店等）を自発的に開放する活動で、平成10年からスタートしました。各地の「まちの駅」では、“郷土愛”をもった駅長・駅員が、地域の人や来訪者を“もてなしの心”で迎えるとともに、地域の魅力を高めていこうという動きとともに、全国各地でまちの駅同士の交流・連携も進められています。

全国フォーラムは、そうした全国各地のまちの駅仲間が一堂に会して、それぞれの取り組みを紹介しあったり、課題を一緒に考え個々の地域に持ち帰り、実験・反映する場として、毎年開催しているものです。

#### 【今大会のねらい】

- ① まちの駅各地の取組みを全国、埼玉県内の方々にPRし、認知度向上を図る。
- ② 秩父市や熊谷市等にまちの駅の新規設置を促すキッカケとする。
- ③ これからのまちづくりに向けて、まちの駅の可能性を検討する。
- ④ お互いの実践活動から学び合い、自分たちの活動に活かす知恵の交換の場とする。
- ⑤ 全国からの来訪者、参加者に本庄の特徴・よさを知ってもらう。
- ⑥ 本庄市内に存立するまちおこし、まちづくりを志向する団体に声がけし交流を深める。

#### ●1日目 10月31日(金)

12:00-13:15 ランチミーティング  
13:30-16:00 開会・挨拶  
フォーラム「まちの駅一座」  
16:10-18:15 ワールド・カフェ  
「まちの駅について語り合おう」  
18:45- 交流会(埼玉グランドホテル本庄)  
(12:00-16:30 物産展示販売)

#### ●2日目 11月1日(土) エクスカーション

「は・に」コース 町並み散策と七福神めぐり  
「ぼん」コース 田舎情緒の風景と最新の  
アイスクリーム工場見学

### 開会・挨拶

※敬称略

#### 開会宣言 立花 勲(まちの駅ネットワーク本庄実行委員長)



みなさん、ようこそ本庄へ。1年前からドタバタと準備をして今日を迎えました。本庄市は東京と温泉大国の群馬県の中間にあり、一見すると何も無いように見えるかもしれませんが、たくさん良いところがあります。それらを紹介しながら、良い町にして行きたいと思い、今日まで準備をしてきました。この大会で、1つでも地元を持ち帰っていただけるものがあれば幸いです。ただいまから開会を宣言致します。

#### 会長挨拶 久住 時男(全国まちの駅連絡協議会会長・見附市長)



本庄市に来たのは3回目です。前は「まちの駅ネットワーク本庄」が「地域づくり総務大臣表彰」を受賞した際に駆けつけました。昨年、福島市で開催した全国大会で、「次回は本庄市で」というお願いしたところ、ようやく受けて頂いた。何回も実行委員会を開かれて準備をされ、従来にない発想を取り入れたことは、今後も残っていくことだろうと期待しています。

まちの駅は、もともと道の駅を発想したメンバーで始めたもの。道の駅の4年後にまちの駅が提案されました。地域の方の顔が見える、交流ができる、トイレを借りて休憩ができる、誇りを持って地域を案内する人がいる、そんなまちの駅は現在1580箇所あります。地域に暮らしている方、生業を持っている方が自主的に取り組んでいる、とてもユニークな組織だと言われています。

総会では、今年1年で1800駅にするという目標が報告されました。最近では、愛媛県にまちの駅連絡協議会が発足しました。また、成田にもまちの駅ができ、格安飛行機LCCを利用することで、沖縄と北海道のご近所付き合いが始まっています。

本日は、全国から多くの方に集まっていただきました。本庄でいただいた元気を地域に持ち帰っていただき、地域から少しずつ国を変えていくことが、この会の役目ではないかと思えます。大会の開催にあって準備をされてこられた皆さんに感謝をして、ご挨拶とさせていただきます。2日間、どうぞよろしくお願い致します。



開会挨拶 阿奈 正子 (NPO法人まちの駅ネットワーク本庄代表)



ようこそ本庄にお越しくございました。ありがとうございます。宇都宮での全国大会の時に、久住会長からまちの駅の説明を伺い、ほんとにいい取り組みだ、本庄でも作りたいと思ったのが始まりです。本庄には、現在60のまちの駅があります。

今日の大会を待てずに、大切な2名の方を失いました。当初の実行委員長・萬里小路さんと、「山の駅」の駅長根岸さん。とても残念でたまりません。きっと、2人揃って仲良く天国から見守ってくれていることでしょう。

本庄の全国大会は、今までとは一味違ったものにしたい、後々まで語られるものを作りたいという思いで、何度も話し合いを持ちました。一本の柱として、「愛」「勇気」「感謝」を貫いて取り組んでまいりました。「脱皮しないヘビは破滅する」と言いますが、人間も同じであり、考え方を新陳代謝させようと考えました。保育園児178名によるお出迎えもその一つです。

観光資源がないと言われる本庄で、物語性を作り出した。ないものねだりではなく、あるもの探しをしたら、ご利益のある場所がたくさん見つかりました。そこで、観光の第一歩として「ご利益のある町ほんじょう」という冊子を作りました。全部を回ると、「叶うくん」が満願を叶えてくれます。

本日はたくさん集まってくださって、ありがとうございました。皆様を心より歓迎申し上げます。

歓迎挨拶

吉田信解 (本庄市長) 代理  
(本庄副市長 奥田謁夫)

全国のまちの駅の皆様、本日は本庄市のお越し下さり、誠にありがとうございます。

本庄は、古くより交通の要衝として発展してきました。江戸時代は中山道の最大の宿場町として栄え、塙保己一の生誕の地でもあり、明治時代は全国有数の繭の生産地として近代日本を支えてきた。現在は、太平洋と日本海を繋ぐ上越新幹線と関越自動車道を擁し、関東北部の産業、農業の一大拠点として、さらには歴史遺産を生かした観光拠点としての取り組みも進めています。

人々の出会いと交流により支えられてきた本庄市で、今般まちの駅全国大会が行われ、全国各地より人々の交流に情熱を持つ方々をお招き出来たことは誇りであり、大きな喜びでもあります。

全国のまちの駅のますますのご発展、ご列席の皆様のご健勝を祈念いたします。本日は誠におめでとうございます。

真下 恵司 (本庄商工会議所会頭)



沖縄から北海道まで、全国からお越しいただきありがとうございます。

本庄には、まちの人が集まって作った本庄カルタがあります。いろはの「い」から始まり「今は昔、中山道一の宿場町」ということでした。私が子どもの頃には繊維の工場がたくさんあって、そこで働く人々で夜も賑わいがありました。本庄に限った事ではありませんが、かつての繁華街の元気がなくなっています。

10年ほど前、阿奈さんから本庄商工会議所にまちの駅の相談がありました。厳しい経済情勢の中、商店中心ではなく、いろいろな業種の方にも参加を呼び掛け、本庄のまちの駅が立ち上がりました。今大会に向けて、毎月集まって準備をしてきたと聞いています。

みなさんには、義理と人情をお持ち帰りいただきたいと思えます。義理・人情は一生残るものですので、いろいろと交流する中で本庄のまちを知っていただき、仲間意識を高めていただければ幸いです。

地方創生が言われていますが、この大会を通じて、国の歩む方向を先じた議論をしていただければと思います。

今日、明日の2日間、楽しく有意義にお過ごしいただくことをご祈念いたしまして、挨拶といたします。



来賓祝辞

上田清司 (埼玉県知事)  
(北部地域振興センター所長 新井勝己 代読)

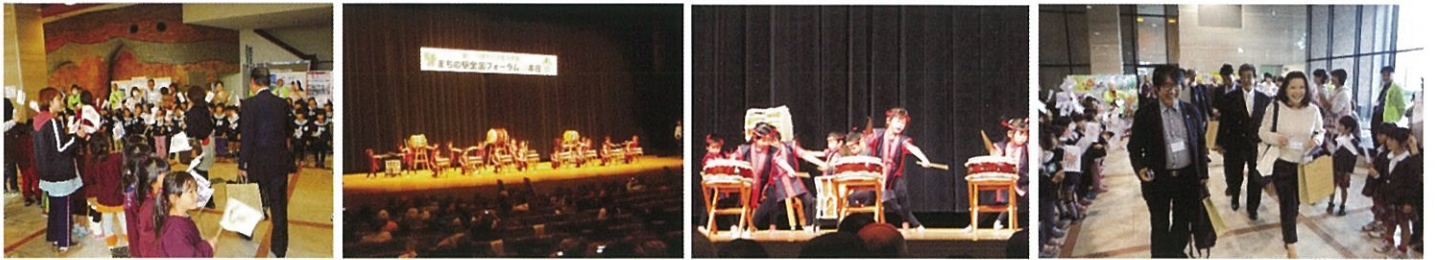
第17回全国まちの駅全国フォーラムが、埼玉県本庄市で盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。合わせて、全国各地からお集まりいただいた皆様を、心から歓迎申し上げます。

私も本庄市のまちの駅を訪問したことがありますが、まちのインフォメーション機能を果たすと同時に、地域のホットなコミュニケーションの場になっていました。皆様には、ご滞在中に複数のまちの駅にお立ち寄りいただき、コミュニケーションを図っていただきたいと思えます。

埼玉県では、「地域支え合いの仕組み」や「わがまち防犯隊」など、「日本一の共助県づくり」を進めています。まちの駅の活動はまさに合致するものであり、心強く思っております。このフォーラムで、まちの駅の理念である「交流」と「連携」をさらに深めていただくことを期待しております。



本庄市内の保育園児 178 人によるお出迎え



芝居仕立ての課題提起

まちの駅メンバーを中心に「まちの駅一座」を旗揚げし、『まちの駅の使命とは』をテーマにした公演による課題提起を行いました。演劇という手法で「まちの駅とは何ぞや」、そして「これからあるべきまちの駅の姿」について、観客に問いかけました。

本庄で開催されるまちの駅全国大会に向けての駅長会議という設定で、『議長の進行のもと、参加者がそれぞれの立場からまちの駅の現状を語り、まちづくりに関する思いや行政への要望を訴え、さらに、それぞれの生業を紹介しながらメンバー同士のつながりを確認していく』というシナリオです。

心に沁みるセリフを紹介すると、奥さんや子供に逃げられた元会社員が「私はここ（まちの駅）を利用して今後の自分を変えたい」と言ったり、本庄には観光も大きな祭りもないという意見に対しては「まちの活性、元気、それは自分自身だよ」と反論が出たり、本音で討論していくなかで本庄の魅力とまちの駅の可能性を再発見する。そして、他のまちの駅の人が言います。「人に迎えらる喜び、それ以上に人を迎える喜び、まちの駅ならではの心を学びました。」

最後は、はにぼんのあいさつでフィナーレを迎えました。





1テーブルに4人が座り、進行役の古瀬正也さんからの問いにあわせてテーブルごとに議論が行われました。

まずは、9マスのパネルを使った参加者同士の自己紹介から始まり、場が温まったところで1ラウンド15分ずつ、3ラウンドの議論へと進みます。

☆第1ラウンド 15分 問「劇を観て、今、何を感じていますか？」

↓ 1ラウンド目が終わると各テーブル1人を残して3人は別のテーブルへ移動。

☆第2ラウンド 15分 問「あなたのまちの“まちの駅”を

↓ より良くする為には、何が必要ですか？」

↓ 新たな4人のメンバーで議論します。

☆第3ラウンド 15分 問（第2ラウンドと同じ設問）

第2ラウンドで別のテーブルに移動していた3人が再び1ラウンド目のテーブルに戻って、議論を深めました。

3ラウンド終了後、各自「振り返りシート」に記入。どんな気づき・学びがあったかを共有する時間を10分程度持ちました。長岡大学から参加した学生3名を含め、計7名が思い思いに感想・コメントを述べました。



参加者1人1人に配付された「振り返りシート」に、ワールド・カフェで行った議論を通してご自身の意見を記入していただきました。

Q1. 今日のワールド・カフェを通して、気づいたこと、思ったこと、考えたこと、学んだことは、何ですか？

Q2. あなたのまちの“まちの駅”をより良くする為には、ずばり、何が必要ですか？

Q2の意見を集計した結果、大きくカテゴリー分けすると、以下のようになりました。（複数回答有）

つながる	22人	…「ゆるやかなつながりが大切」、 …「他とのネットワーク」etc
交流	12人	…「交流会」「懇親会」「会員同士の交流」etc
知ってもらう	11人	…「知名度・認知度を上げる」etc
イベント開催	10人	…「まちの駅としてのイベント企画」etc
話す	9人	…「話をする機会をたくさん作る」etc
ネットワーク内の協力	9人	…「駅同士と一緒に汗をかく」etc
意識を高める	8人	…「各駅がもう少し主体になって」etc
楽しむ	7人	…「楽しくなければまちの駅は増えない」etc
まちが好き	5人	…「自分のまちが好き」etc
人	5人	…「各駅の駅長の個性」etc
ネットワークの強化	5人	…「ネットワークを強化する事が大事」etc
目的の共有	5人	…「まちの駅の目的、役割の共有が必要」etc
駅の充実	5人	…「それぞれのまちの駅の質の向上」etc

その他「リーダーが必要」、「行政に頼らない」などたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます！





## ランチミーティング

まちの駅一座の公演の前に、全国各地から集まったまちの駅仲間 130 人ほどでランチミーティング。東京の江戸川まちの駅・川の駅連絡協議会と親しい沖縄出身の歌手のサリー・ジョーさん（右上）が一曲披露。テーブルごとの情報交換も盛り上がりしました。

お弁当とともに本庄の郷土料理「つみっこ」が振舞われました。



## 交流会（1）

埼玉グランドホテル本庄にて、まちの駅交流会が開催されました。本庄および全国各地のまちの駅メンバー、関係者およそ 170 人が参加しました。

会場内では、本庄、会津、鹿沼、尾鷲、長岡、焼津などのまちの駅による物産展示販売も行われました。



本庄市の獅子舞・お囃子が披露されました



全国まちの駅連絡協議会副会長の  
上野春樹さんから開会のご挨拶



まちの駅関係者の挨拶にみなさん真剣に聞き入っていました



会場のあちこちで楽しく交流中



まちの駅物産展示販売。  
本庄の美味しいものを売ってま〜す♪



本庄のみなさん、お芝居ごろうさま！



## 交流会（２）



新潟メンバー



栃木メンバー



九州メンバー

都道府県ごとにまちの駅のメンバーがごあいさつ



東京メンバー



福島メンバー



富山メンバー

まちの駅の酒蔵から直送されたお酒でお酒交流会も実施！



まちの駅おみやげ争奪じゃんけん大会



お酒をご提供いただいた酒蔵まちの駅の皆さん（10駅）

地域	酒名	まちの駅名	商号・酒蔵名等
会津	伝承山廃純米 末廣	お酒の駅	嘉永蔵（末廣酒造(株)）
さの	閑華	地酒の駅	ギャラリー酒蔵楽/第一酒造株式会社
さの	清酒 初戎（はつえびす）	まちなか酒蔵の駅	吉井酒造
ながおか	朝日山 千寿盃	まちの駅 酒蔵のある里	酒蔵のある里 （酒蔵の里 あさひ山/あさひ山 蛸庵）
黒部	幻の瀧 純米吟醸	日本の名水が湧き出る酒蔵駅	皇国晴酒造（株）
勝山	伝心 雪	酒蔵の駅	（株）一本義久保本店
佐久	信濃のかたりべ	中山道茂田井間の宿 まちの駅	大澤酒造（株）
あまぎあさくら	らんびき 5年貯蔵	焼酎の駅	ふびす酒造（株）
鹿児島	天地一杯	<南薩> 白波の駅	薩摩酒造(株) 明治蔵
沖縄	古酒 くら	泡盛の駅 許田	ヘリオス酒造

おみやげをご提供いただいたまちの駅の皆さん

ゆいまちの駅ネットワーク	桜えび商品	宮若市まちの駅連絡協議会	追い出し猫グッズ
小城まちの駅ネットワーク	小城羊羹、アロマキャンドル	粕屋まちの駅連絡協議会	かすやコーヒー
まちの駅ネットワークかぬま	お酒	笠松町まちの駅	お酒、パンフ
江戸川まちの駅・川の駅連絡協議会	惣菜パン、菓子パン	まちの駅 NW 東金、松江	パンフ、チラシ、新聞



【は・にコース】 徒歩コース 町並み散策と七福神めぐり

「はコース 一本庄市内まちの駅を自転車で散策」は、雨天のため「七福神めぐり」に変更となりました。

ルート 本庄地域の七福神とよばれるお寺や神社を回り、ご利益をいただてきました。

レンタサイクルの駅 → 大正院 → 円心寺 → 開善寺 → 石舞台の駅 → 小笠原信嶺の墓 → 諸井家住宅 → 慈恩寺 → 田村本陣の門 → 歴史民俗資料館 → 御大師様が立ち寄られる駅 → 普寛霊場 → 安養院 → 佛母寺 → 金鑽神社 → 泉林寺 → 城立寺 → インフォメーションセンター



レンタサイクルの駅 →



円心寺 →



石舞台の駅 →



歴史民俗資料館 →



御大師様が立ち寄られる駅 →



佛母寺 →



金鑽神社（「に」班） →



インフォメーションセンター（「は」班）

【ぼんコース】 バスコース 田舎情緒の風景と最新のアイスクリーム工場見学

ルート 自然豊かな児玉地域をバスでめぐり、ガリガリ君で有名なアイスクリーム工場を見学しました。

競進社模範蚕室見学 → 高窓の郷・成身院百体観音堂（さざえ堂）見学 → 赤城乳業本庄千本桜工場見学 → 昼食（いなか茶屋きんしょう）



競進社模範蚕室見学（外観） →



競進社模範蚕室見学（室内） →



高窓の郷・成身院百体観音堂（さざえ堂） →



赤城乳業本庄千本桜工場 →



昼食（いなか茶屋きんしょう）



埼玉県を代表する国学者・塙保己一の紹介



【新聞記事】

(WEB 掲載記事)



2014年11月3日(月)

200超の“駅長”集合 本庄でまちの駅全国フォーラム



本庄市民文化会館1階のロビーでは、本庄、会津、鹿沼、尾鷲、長岡、焼津、鹿児島、沖縄のまちの駅による物産展示販売が開催され、来場した人がそれぞれの地域の魅力ある特産品を買い求めていました。



舞台上には「はんにゃあいさつ」をする吉田信解市長(左)と阿奈正子代表(右)ら  
=本庄市民文化会館大ホール

本庄市のNPO法人「まちの駅ネットワーク本庄」(阿奈正子代表)と全国まちの駅連絡協議会(久住時男会長)は本庄市民文化会館で「第17回まちの駅全国フォーラム in 本庄」を開いた。まちの駅は、出会いと交流をサポートするまちの情報を発信する拠点のこと。大会では「まちの駅一座」が演劇で盛り上げた。

まちの駅ネットワーク本庄は9年前に発足して現在、市内に60駅ある。2010年1月には地域づくり総務大臣表彰を受賞している。

演劇は、まちの駅本庄のメンバーでもある「たまり漬け一座」が主導して、客席を舞台にして展開。本庄のまちの駅の多様性をコミカルに演じた。市役所へのクレマー役を吉田信解市長自らが演じたり、若者が市のビジョンを語る場面もあり、楽しませた。

阿奈代表は「北海道から沖縄県まで、全国には約1650のまちの駅があるが、今回は200を超える駅の駅長に来ていただいた。本庄の良いところと、私たちの心意気を知ってもらう機会になった」と喜んだ。

演劇のフィナーレでは、出演者がそろって舞台上上がり、市のマスコットキャラクター「はんにゃ」も登場。吉田市長、阿奈代表らが「はんにゃあいさつ」を披露して、なごやかムードを演出した。

新潟県見附市長でもある久住会長は「まちの駅一座による演劇は、これまでの全国フォーラムにはなかった興味深い企画だった。吉田市長の出演もあって、面白かった。まちの駅同士のつながりの深さが伝わってきた」と話していた。

【ご協賛いただいたみなさま】 ありがとうございます!

- ◇ 会津まちの駅
- ◇ まちの駅ネットワークふくしま
- ◇ まちの駅ネットワーク黒部

会津のいいものがそろっている

「ハンサムウーマン」ブランド

取り扱ってくださるまちの駅を大募集します!

<http://www.handsome-woman.com/>

常設販売、イベントでの販売、仕入れ方法、ロット数など、柔軟に対応しますので、ご興味のある方は、会津まちの駅事務局の会津地域連携センターまでお気軽にお問い合わせください。



NPO 法人会津地域連携センター  
TEL 0242-22-3633  
FAX 0242-22-3644  
aizu-renkei@bekonon.com



まちの駅ネットワークかぬま

まちの駅といえば“設置数日本一”の『かぬま』。“SATSUKI”“BONSAI”といえは『かぬま』。“彫刻屋台”“ぶつつけ秋祭り”といえは『かぬま』。笑顔あふれるやさしいまち『かぬま』では94の駅がおもてなしの心を持って活動しています。

まちの駅ネットワークかぬまのキャラクター『ベリーまっちゃん』です!

まちの駅ネットワークを活かした地場産品のブランディングや観光地域づくりなど、全国まちの駅連絡協議会プロジェクトチームがサポートします!ご興味のある方は全国まちの駅連絡協議会までお問い合わせください。

全国まちの駅連絡協議会 TEL 03-5823-4190 / FAX 03-5823-4191  
担当: 駒田 k.komada@jrec.or.jp